



2024～2025年度スローガン 指針を持ち ビジョンを掲げよ！

目次

- P2 2月地区例会
3月支部例会
- P3 経営労働報告会
新入会員紹介
- P4 ピックアップ会員さん
大潤さん

支部長コラム

4月になり、支部長として2年目を迎えることとなりました。昨年度は、支部内での小組活動が少しずつ形となり、地区会を中心に「語り合える関係性」が芽吹き始めた一年だったと思います。昨年度の振り返りのもとに、支部の指針書も改訂しています。ぜひe-doyuで確認してください。ともに学び、語り合い、そして成長していきましょう。2025年度が、皆さまにとって実り多き一年となりますように！



過去の活動は
ここからチェック！

2025年3月末会員数

207名 / 2025年度末
目標 220名

広島県中小企業家同友会
東広島支部 会報誌
2025年4月発行

2025年2月 地区例会

2月20日、商工会議所にて、「リーダーシップのない人がチームを動かすために必要な5つのこと」と題し、株式会社ixisの杉原氏に報告いただきました。強力なリーダーシップに頼らずともチームを効果的に機能させるための具体的な5つのポイントとは？



1. 「ひとりでもミッションを掲げる：組織を動かす旗を立てる」

組織全体の目標を共有し、各メンバーがその目標達成に向けて主体的に行動することで、全体の推進力が高まる。

2. 「弱点を独自の強みに変える」

個々のメンバーの弱点を補い合うことで、チーム全体の強みに変え、多様性を力に変える。

3. 「経営指針書（事業計画書）を”社員”と作る：みんなで戦略を描き共有する」

社員が戦略策定に参加することで、目標に対する共通認識と責任感を醸成し、チームの一体感が強まる。

4. 「企業文化こそ最高の経営戦略」

企業の価値観を明確にし、それを共有することで、チームの一体感とモチベーションを高めることができる。

5. 「情報を共有する：いつでも誰でも状況が見える仕組みづくり」

組織がどこに向かって進んでいるのか明確にわかると軸がぶれない。

報告を聞いて感じたことは、リーダー（社長）とメンバー（社員）が情報を共有できると全体が同じ目標やゴールに向かって進むことができ、組織が強くなり前進していくということです。今回の報告は、チーム全体の力を最大限に引き出すための実践的なアプローチとなると思います。（記：山本）



2025年3月 支部例会

3月6日、株式会社速太郎本部の高木芳郎社長を講師に迎え、支部例会を行いました。高木社長は、アニメ「アタックNo.1」や「ミュンヘンへの道」を見てバレーボールに興味を持ち、中学校から寮に入ってバレーボールを本格的に始められました。全国大会に出場される等のご活躍もありましたが、体育会特有の理不尽な人間関係に悩むこともあり、この時の経験から忍耐力が培われたとのこと。大学卒業後は自動車ディーラーに就職され、スポーツで養った「トップを取りたい」という意識から、一日100件の訪問や、主婦の井戸端会議に飛び入り参加するなどの努力をされました。



その後、現在の速太郎の前身となる会社に就職をされ、車検の短時間化に取り組まれました。その頃の車検は最短でも1日かかっていましたが、これはあら捜しをして儲けようとする風潮が原因でした。会長より「1時間で車検ができるように」という指示があり、当初は会長の方針に納得しない社員との板挟みで苦労をされたとのこと。最終的には、車検を健康診断と捉え、最低限のチェックだけを行うことで、1時間で車検を終える体制を作ることができるようになりました。この方法は競合他社からの反発を招きましたが、今ではその考え方が浸透してきており、今では日本全国から、広島へ加盟店の方が研修に来られるようになりました。現在は、車検の短時間化を、広島から日本全国に普及させるために尽力されています。

いろいろご苦労をされたご経験もありながら、苦労談を飄々と語る高木社長の姿から、苦労を苦労と思わず、前向きに創意工夫する大切さを学びました。

（記 吉井）

2月3月 経営労働発表会

経営労働委員会では、2月25日と3月25日の2回にわたり、発表会が開催されました。

● 2月25日：経営基礎講座受講生による発表

1年間の経営基礎講座を修了した受講生たちが、自社と真摯に向き合い、魂を込めて作成した経営指針書を発表しました。それぞれの経営者の想いが詰まった指針書は、今後の経営における力強い羅針盤となることでしょう。



● 3月25日：ワタジ機構・綿路氏による発表

ワタジ機構の綿路氏が同友会での学び、経営指針書作成の重要性とロードマップの活用について発表されました。綿路さんは同友会歴12年で、お酒や飲料水のボトリング機械の販売・メンテナンスを行う会社の経営者であり、発表では機械の動画も紹介され会場内では驚きの声が上がりました。

経営労働委員会の基礎講座での学びを基に、自社の経営指針書を作成の過程で、経営理念の明確化、10年ビジョンの策定、SWOT分析、ブロックパズルなどを行い、自社の現状を深く分析しました。

指針書を作成したことで、自社の進むべき方向が明確になり、経営における意思決定の軸が定まりました。

ロードマップを活用して自分の立ち位置を振り返ることで、自社を見つめるきっかけになったそうです。

経営指針書は、企業の羅針盤となる重要なツールです。

同友会での学びを通して、自社の経営を見つめ直し、持続的な成長を目指すことが重要です。

「自社の未来を、もっと明確にしたい」「経営者として、もっと成長したい」そう願うあなたへ。

経営労働委員会では、1年かけて経営指針書を作成する基礎講座を開講しています。同友会での学びを通して自社の経営を見つめ直し、持続的な成長を目指しましょう。

(記：菊田)



新入会員紹介



会員名：日下 智晴
(くさか ともはる)
日下企業経営相談所 代表

一言：
1961年東広島市西条町生まれ。
広島銀行、金融庁を経て、祖父の開設した相談所を再興しました。中小企業経営者からの相談を承ります。よろしくお願いします。



会員名：高倉 仁 (たかくら じん)
株式会社高倉組 代表取締役
趣味：温泉、気の合う人との一杯、美味しいもの巡り

一言：「伝えたいけど、うまく伝わらない」そんな悩みを抱える企業に寄り添い、YouTube活用をサポートしています。ただ動画をつくるのではなく、“誰に・何を・どう伝えるか”を一緒に考えながら進めていくのが特徴です。動画をやってみたいけど踏み出せない、続け方に悩んでいる方は、お気軽にご相談ください！



会員名：萩原 明日香
(はぎわら あすか)
JAM 代表

会員名：道免 純子
(どうめん じゅんこ)
JAM 副代表

一言：
西条岡町でスナックをしています。明るく楽しいお店作りを心掛けています。この度、同友会に入り、経営の勉強をしてみようと思います。会社経営に疲れた時は、JAMで楽しく過ごしてもらえたら嬉しいです。よろしくお願いします！





大澗さんは黒瀬のご出身で、小学校から野球を始められ、高校は呉昭和高校で甲子園を目指されました。高校時代の練習はスパルタで、鉄拳制裁もあったとのことですが、この時の経験が「どんなに大変なことがあっても耐えられる」という自信につながり、人生の糧になったということです。反面、自分の弱みを見せてはいけない、という考え方にもつながった面もありました。

大学も野球推薦で進学されましたが、大学時代はバイトに明け暮れ、野球にはあまり真剣に取り組まれませんでした。大学4年生の時に、「自分は何をしているんだ」という気になり、地元に戻って就職することにして、トヨペットで車の営業マンとしてのキャリアをスタートされました。

「同期のうちで一番になろう」という強い思いと、入社当時の店長の指導もあり、訪問件数や査定件数のノルマを着実にこなすうち、入社4年目からは3年連続で営業成績トップを取られました。

トヨタにいと、どうしてもトヨタ車しか販売できないこともあり、入社5年目頃から独立を考えられるようになりました。会社にもきちんと連絡をし、円満退社した後、2021年2月に先輩の整備士とともに独立をされました。

独立してからは順調に売上を伸ばされましたが、当時は売上を上げることに必死で、先輩の整備士への配慮をすることができなかったとのこと。結果的に、先輩整備士の方は休みなく働くこととなり、人間関係も悪化し、退職されることになりました。

ちょうどこの頃、同友会の例会に参加された際、社員の気持ちに向き合っていなかったことに気づき、同友会活動に積極的に参加されるようになりました。昨年は支部青年部の15周年記念行事の実行委員長をされ、弱みを見せずに自分で全部抱え込むのではなく、自分の想いをちゃんと持って伝えること、コミュニケーションの重要性に気づいたとのこと。それから社員全員で、経営理念の再構築をされ、「和と輪 心から繋がり、ともに手を取り合う」という理念を作り上げられました。

2025年2月に、八本松で新しい社屋での営業を開始され、開業4年で従業員も9人になられています。会社員時代の先輩、鈴木さんも入社され、会社としての体制も整ってきています。今後とも、経営理念「和と輪」を基に、人づくりをしながら、全員経営を実践していきたいとのこと。

2025年度は、支部の青年部長も務められる大澗さんのやる気あふれるお話を聞き、私も元気になりました。やっぱり若いって良いですね！（記：吉井）